

テレビCMの全国放映にも耐える インフラを実質3分の1の工数で実装 キャッシュによりレイテンシーを 300ミリ秒から100ミリ秒に改善

「スペースシェアをあたりまえに」というミッションを掲げ、スペースシェアの文化創造、拡大に取り組む株式会社スペースマーケット(以下、スペースマーケット)。同社は、2018年末のテレビCMの全国放送に向け、トラフィックの急増に対応できるインフラ整備が急務となっていた。そこで、FastlyのCDN、イメージオプティマイザー、およびTLSを採用。導入後、年ごとに1.2~1.5倍が増えたトラフィックに対し、サーバーを数台増やしただけで対応できるインフラを実現した。

テクノロジーの活用で、「あたりまえをアップデートし続ける」

「スペースシェアをあたりまえに」というミッションを掲げ、「スペースマーケット」、および「スペースマーケット WORK」を展開するスペースマーケット。スペースを貸し借りできるプラットフォームであるスペースマーケットは、住宅、古民家、会議室、撮影スタジオ、映画館、廃校など、使われていない遊休スペースを、インターネットを通じ、1時間単位で貸し借りすることが可能。全国1万9,000件以上のスペースが掲載されている。

一方、2020年8月にローンチされたスペースマーケット WORKは、働くシーンに特化したスペースをオンラインで貸し借りできるプラットフォーム。コロナ禍で働き方が変化する中で、多様な働き方の実現を支援する。同社のサービスを利用することで、貸し手は遊休不動産の収益化が可能になり、借り手はこれまでできなかった体験が可能になるなど、新たな価値創出につながっている。

またテックミッション「あたりまえをアップデートし続ける」を掲げ、テクノロジーの活用により、「あたりまえ」を作り出すことも取り組みの1つ。執行役員 CTO である齋藤哲氏は、「常に利用者の体験を豊かにする価値の提供を考えており、テクノロジーを活用することでサービスを進化させていくことを目指しています。スペースシェアがあたりまえの選択肢に入る世界を実現するために、イノベーションを積み重ねていきたいと考えています」と話す。

スペースマーケットでは、2019年12月の上場に向けて会社が急激に成長している時期である2018年、取り組みの1つとしてテレビCMの全国放映を計画していた。テレビCMが全国放映されることで、ウェブサイトのトラフィックが増大し、サーバーリソースの不足が予測されることから、インフラ整備が急務となっていた。また同時に、アプリケーション最適化などのパフォーマンスチューニングも必要だった。



執行役員 CTO 齋藤 哲氏

また以前より、画像配信の仕組みにも体系的な課題があった。齋藤氏は、「画像のサイズの変更や形式の変換、配信は自社で開発した仕組みを使っていました。しかし、変換処理の品質が悪く、使っているとメモリーリークも発生するため、手作業での対応が必要で運用が煩雑になっていました。本当は自分たちで解決するのが一番ですが、ビジネス的な観点から時間をかけることができず早急な対応が必要でした」と話す。

この2つの課題を解決できる手段を検討した結果、Fastlyのコンテンツ配信ネットワーク (CDN)、イメージオプティマイザー、およびトランスポートレイヤーセキュリティ (TLS) を採用することを決定した。



社名: 株式会社スペースマーケット

住所: 〒150-0001

東京都渋谷区神宮前 6-25-14

JRE神宮前メディアスクエアビル 2F

URL : <https://spacemarket.co.jp/>

2014年1月8日に設立。「場所のチカラで あなたにエール」という企業理念に基づき、プラットフォームサービス「スペースマーケット」、および「スペースマーケット WORK」の運営と、イベントプロデュース、およびプロモーション支援などの法人向けソリューションを事業として展開。スペースを「所有ではなく利用」「占有ではなく共有」することで、さまざまな社会課題の解決に貢献するSDGsの取り組みも推進。スペースシェアをあたりまえの選択肢とすることで、多様なチャレンジを生み出し、世の中を面白くすることを目指している。

